

支部研修会2025 第3部



# 最近の看護の動向

-2040年を見据えて-

富山県看護協会の取組み

---

公益社団法人 富山県看護協会  
会長 岡本 里美



# 公益社団法人富山県看護協会

---

## 基本理念

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、  
**人々の健康な生活の実現**に貢献する。

## 使命

- 看護の質の向上
- 看護職が働き続けられる環境づくり
- 看護領域の開発・展開

# 富山県看護協会 会員数一覽

2025年7月31日現在

| 職 種  | 会員数<br>(人) | 増減(△)<br>前年同期比 | 入会率 ※R7.3.31 |
|------|------------|----------------|--------------|
| 保健師  | 515        | 6              | 71%          |
| 助産師  | 397        | △1             | 93%          |
| 看護師  | 7,901      | △62            | 59%          |
| 准看護師 | 68         | △10            | 3%           |
| 合 計  | 8,881      | △ 79           | 52%          |

# 組織図

公益社団法人 富山県看護協会

総 会

最高意思決定機関

理 事 会

協会会務執行機関

- |         |   |       |    |
|---------|---|-------|----|
| ●会長     | 1 | ●副会長  | 2  |
| ●専務理事   | 1 | ●常任理事 | 1  |
| ●職能理事   | 4 | ●理事   | 13 |
| ●准看護師理事 | 1 | ●監事   | 3  |

支 部

委 員 会

黒部・魚津支部

富山東支部

富山北支部

富山西支部

富山南支部

上市支部

高岡・射水・氷見支部

砺波・小矢部支部

保健師職能委員会

助産師職能委員会

看護師職能Ⅰ委員会

看護師職能Ⅱ委員会

総務委員会

教育委員会

広報委員会

社会経済福祉委員会

看護倫理委員会

医療安全委員会

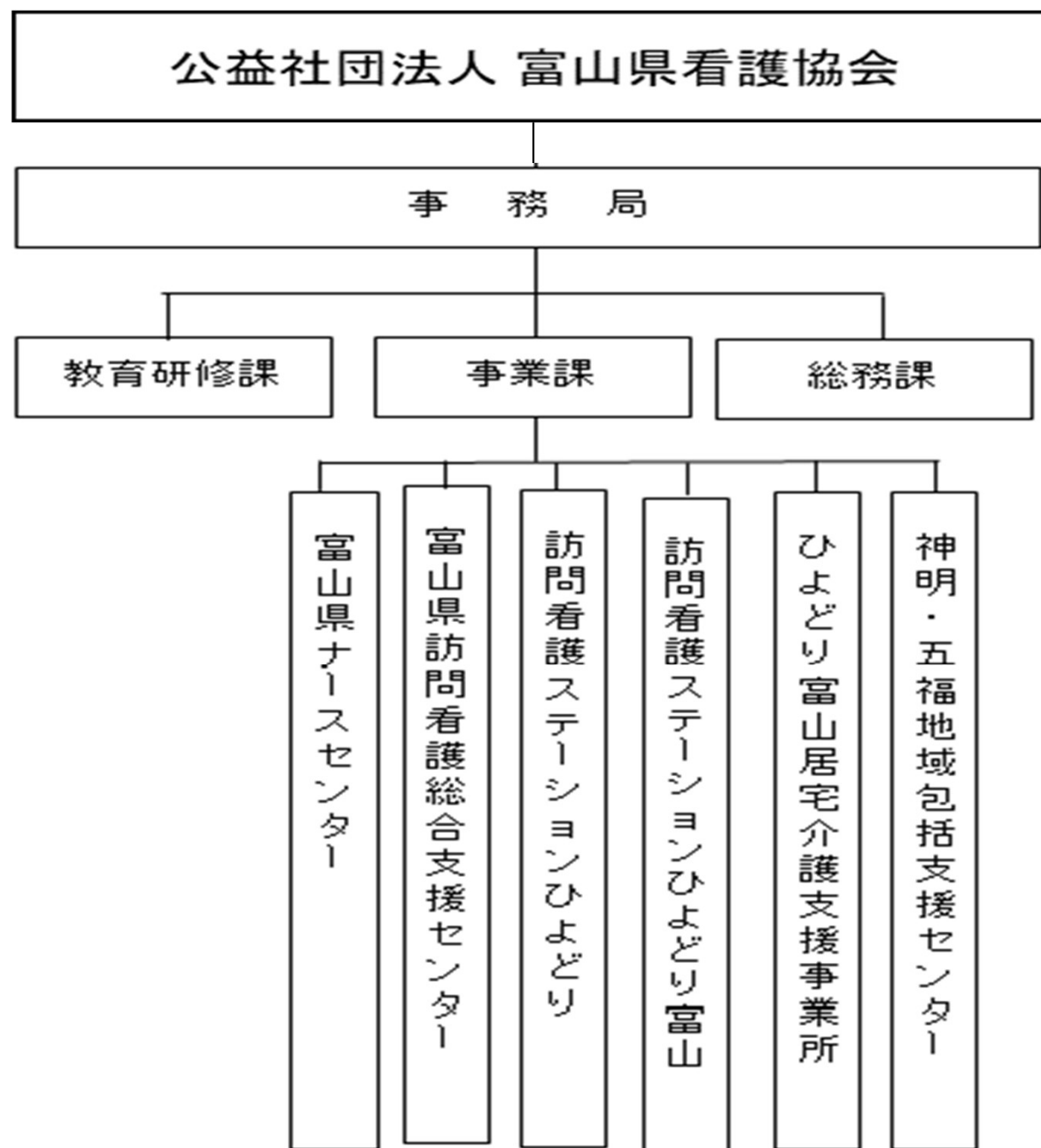
災害看護委員会

学会委員会

選挙管理委員会

推薦委員会

## 組織図



### 1. 全世代の健康を支える看護機能の強化

療養の場が医療機関から在宅へとシフトしていくことを踏まえ、令和6年度に策定した「**2040年を見据えた看護提供体制のあり方**」に基づき、その実現に向けて、看護におけるDXの推進も念頭に、効率化による看護提供の充実を目指す。また、疾病の重症化予防はもとより、**外来での療養支援等の看護機能の一層の強化**、健康な人々の**予防・健康づくり**も含め、看護の支援を全世代に広げていく取組みを進める。

### 2. 専門職としてのキャリア継続の支援

労働人口が減少する中でも看護の質の維持・向上と量的確保が成り立つよう、**看護職の個々の能力とキャリアを伸ばしつつ、ライフステージに応じた柔軟な就業継続を目指す**。望ましい夜勤・交代制勤務の周知・普及や看護DX等の推進に加え、**ハラスメント対策の強化に向けた取組みを進める**。また、本年秋以降に開始が予定されるNuPSや関連システムの周知・普及を進めるとともに、国のデータベースとの連携による復職・スキルアップ支援を図る。

### 3. 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

地域で療養する人々の看護ニーズの一層の高まりに応えるため、**看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアの推進**とともに、自ら考え行動できる専門職として、**特定行為研修修了者の活躍推進**を目指す。資格認定3制度については、資格認定者の戦略的な養成を進め、認定看護管理者制度は**見直しの方針を確定し、制度の再構築に着手する**。

### 4. 地域の健康危機管理体制の構築

災害と感染症への対応を一体的に行い、国の仕組みとして研修、登録管理、広域派遣調整の実施が位置付けられた**新たな災害支援ナース**が令和6(2024)年度より開始となった。引き続き、看護が必要なところへ適切な支援を安定的に届けられるよう、取組みを推進する。

# 令和7年度重点事業

---

## 1. 全世代の健康を支える看護提供体制の推進

- (1) 地域における看護職の連携強化
- (2) 訪問看護・看多機の提供体制強化
- (3) 母子のための地域包括ケア推進
- (4) 保健師・助産師・看護師の活躍推進

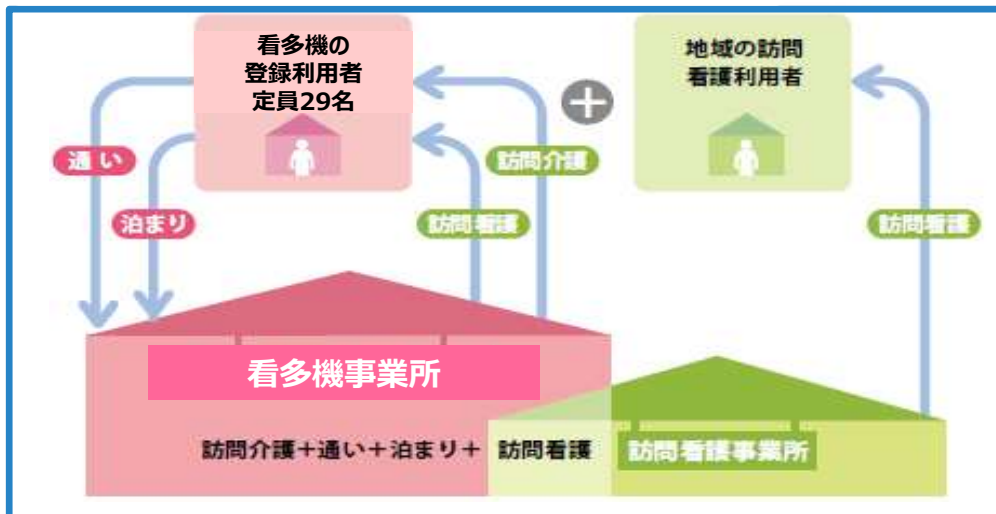
## 2. 訪問看護・看多機の提供体制強化に向けた取組み

### 1) 訪問看護・看多機の提供体制強化に向けた取組み

#### 内容

訪問看護総合支援センターの全県設置に向けて、センター設置の効果等を明確化するとともに、地域の実情に即した今後のサービス提供（訪問看護・看多機）の在り方を検討する。

#### 看多機のサービス体系と対象者



#### 期待される役割

- ・医療ニーズのある中重度者の在宅療養継続支援
- ・利用者の自立支援・重度化防止のケア

#### 事業所数（令和6年12月時点）

- ・全国**1,095**事業所
- 看多機が1か所もない市町村が約76%
- 看多機が1か所もない二次医療圏が約28%

### 2) 看多機の設置推進・サービス対象者拡大に向けた取組み

#### 内容



- 看多機開設・運営支援オンラインセミナーの開催により、看多機新設を検討している事業所や医療機関、行政担当者に対し開設や運営上の課題、解決策等を紹介し設置推進を図る
- 学会発表や執筆を通じて看護管理者等への看多機の周知を図る
- 介護保険適用外の在宅療養者を看多機で受け入れるモデル事業を継続する

### 3) 報酬改定要望等に向けたエビデンス構築

#### 目的

訪問看護等に係る報酬改定要望、制度改正要望等に必要なデータを得る

#### 内容

訪問看護事業所を対象としたWeb調査

#### 時期

2025年10月頃を予定



# 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインについて

富山県内において、新卒訪問看護師の人材育成及び研修体制を整備することにより、新卒看護師の訪問看護ステーションへの就業を促し、安定的な人材を確保することを目指して「富山県新卒訪問看護師育成ガイドライン」を作成しました。

県内の訪問看護ステーションで、このガイドラインが活用され、訪問看護の人材育成・確保と地域全体の看護の質の向上に繋がることを目指しています。

新任訪問看護師育成にも、役立ちますので、ぜひご活用ください。

## 富山県新卒訪問看護師 育成ガイドライン



令和5年6月



公編刊行所

富山県看護協会

# 令和7年度重点事業

---

## 2. 看護職のキャリア継続支援

- (1) 多様で柔軟な働き方の推進
- (2) 夜勤交代制勤務における負担軽減
- (3) 看護職の専門性に資するタスクシフト・シェアの推進
- (4) ハラスメント対応の強化

## 2) 夜勤・交代制勤務の負担軽減と多様で柔軟な働き方の推進

### 【夜勤・交代制勤務の負担軽減】

#### 方針

2024年度とりまとめた「**「頻繁な昼夜遷移が生じない交代制勤務」に関する調査事業報告**」等の成果をふまえ、**今後望ましい夜勤・交代制勤務に関する本会の考え方**を整理・提案し、夜勤負担軽減・夜勤者確保に向け周知普及を行う。

#### 実施内容

##### 1)夜勤・交代制勤務における負担軽減策の公表・周知

- ・夜勤者確保・夜勤負担軽減に向けたセミナーの開催
- ・情報発信（本会ホームページや協会ニュース、学会発表 等）

##### 2)看護職員の夜勤負担軽減に向けた要望・意見交換

- ・国への要望、関係団体等との情報共有・意見交換



### 【多様で柔軟な働き方の推進】

#### 方針

2024年度公表した「**多様で柔軟な働き方の提案**」の周知に努めるとともに、具体的な導入方法やマネジメントに関するガイドブックを作成し、多様で柔軟な働き方の導入を促進する。

#### 実施内容

##### 1)「多様で柔軟な働き方」の提案と導入に向けたマネジメントの周知・普及

- ・多様で柔軟な働き方の導入に向けたガイドブック（小冊子）の作成
- ・求人施設における効果的な人材確保に関するセミナー（仮）の開催
- ・情報発信（学会発表、本会ホームページ、協会ニュース等）

##### 2)WLBインデックス調査の周知・普及

- ・周知普及および利便性を高めるための検討

### 3) 業務効率化における看護DXの推進

#### 方針

「看護業務効率化取り組みガイド」を周知するとともに、今後、各施設における業務効率化の事例を収集・横展開するための事業を検討する。今年度は**AI・ICT等を活用した好事例の収集・周知**を試行的に実施する。

#### 実施内容

##### 1) 好事例の収集・周知

・好事例の収集・周知に関する事業の検討・試行的実施

##### 2) 看護業務効率化に関する情報発信



### 4) 看護職員へのハラスメント対策の強化

#### 方針

看護職員へのハラスメントの実態や課題を把握し、対応策の検討とともに、看護現場におけるカスタマーハラスメント防止に向けた情報発信等を行う。

#### 実施内容

##### 1) 看護職員へのハラスメントに関する実態把握

##### 2) 看護職員へのカスタマーハラスメントに関する課題の明確化・防止策の検討

### 5) 「日本看護サミット2025」の開催

#### 方針

「働き続けられる環境づくり」をテーマに、同時期開催されるICNIWFF（国際看護師協会インターナショナル・ワークフォースフォーラム）と相乗効果を得られるようなプログラムで開催し、看護職の働き方改革に向けた取り組みの機運を高める。



## 看護補助者の確保・定着の推進

ナースセンターでは地域や病院等のニーズに応じて看護補助者としての就業を支援します。

## ■ 看護補助者の仕事に関する周知

ハローワーク等の関係機関と連携し、看護補助者の仕事に関する周知に向けたセミナーや仕事体験会などを実施しています。

## ■オンデマンド研修の提供

看護補助者の質の担保に向け、看護補助者としての就業を希望する求職者にはオンデマンド研修も提供しています。就業前に研修受講により、病院における研修負担の軽減や就業後の定着促進を図ります。

## ■ 無料職業紹介の実施

看護補助者の求人・求職のマッチングを実施します。自県ナースセンターでマッチングを実施するほか、ハローワーク等とも連携して職業紹介を実施しています。

[illegible]

図：求職者向けリーフレット

オンデマンド研修 受講者数 921名  
ナースセンターが関与した就業者数 96名

# 令和7年度重点事業

---

## 3. 専門職の人材育成と役割拡大

- (1) 看護職の生涯学習支援体制の構築
- (2) 統括保健師の育成・活躍推進
- (3) 特定行為研修修了者の活動推進
- (4) 訪問看護・介護領域で活躍できる看護職の人材育成

# 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進

## 特定行為に係る看護師の研修制度

- 2025年に向け、さらなる在宅医療等の推進を図るために創設された制度
- 医師の判断を待たずに、手順書（＝指示）により研修修了看護師が一定の診療の補助を行う

### 日本看護協会の方針

- ◆ 少子超高齢社会における地域・国民のニーズに積極的に応えるため、制度の活用を推進する。
- ◆ 特定行為研修で医学的知識・技術を強化した上で、病態の変化や疾患、患者の背景等を 包括的にアセスメントし、看護を基盤に、 特定行為も含めた質の高い医療・看護を効率的に提供することが期待される。

## 2. 特定行為研修のさらなる受講促進と活動推進

### 厚生労働省委託事業

「特定行為研修の組織定着化支援事業推進に係るワークショップ等開催事業事業」

## 2) 組織定着化支援事業における指定研修機関の特定行為研修修了者養成と活動推進への支援

### 目的

- ・ 看護師の特定行為研修の受講と研修修了者の活動の推進に組織的かつ継続的に取り組む指定研修機関に対し、その取組を支援
- ・ 先駆的な取組の周知を行うことにより特定行為研修修了者の養成と研修修了後の活動を推進

### 検討委員会の設置・運営

具体的支援内容の検討、ワークショップ・シンポジウムに関する検討など

### 指定研修機関の取り組みを支援するため ワークショップの開催

先駆的に取り組む施設の課題解決や円滑な取組を推進

3回/年

### 指定研修機関の取り組みを周知するため シンポジウムの開催

先駆的に取り組む施設の報告など  
1回/年



# 令和7年度重点事業

---

## 4. 感染症拡大及び災害発生時看護支援活動の推進

- (1) 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）の養成・フォローアップ
- (2) 新興感染症拡大及び災害発生時の派遣調整に備えた体制整備
- (3) 平時における災害発生時の看護支援活動に向けての準備
- (4) 本会BCP（業務継続計画）の検証

# 自然災害、感染症支援に係る看護職の派遣体制の概要

令和6年度厚生労働省委託事業  
災害・感染症に係る看護職員確保事業

総論（講義）



災害各論（講義）

感染症各論（講義）



講義＋災害（演習）  
＋感染症（演習）

【1】養成研修の実施

全てのプログラムを受講

養成研修修了  
(修了者リスト化)

都道府県が地域の実情に応じて体制を構築

災害支援ナース  
登録

発災

感染症  
発生・まん延

派遣

【2】リスト管理

【3】派遣調整

※災害と感染症について一体的なプログラムを提供

都道府県が、  
登録や派遣に関する実務を  
都道府県看護協会に委託可能

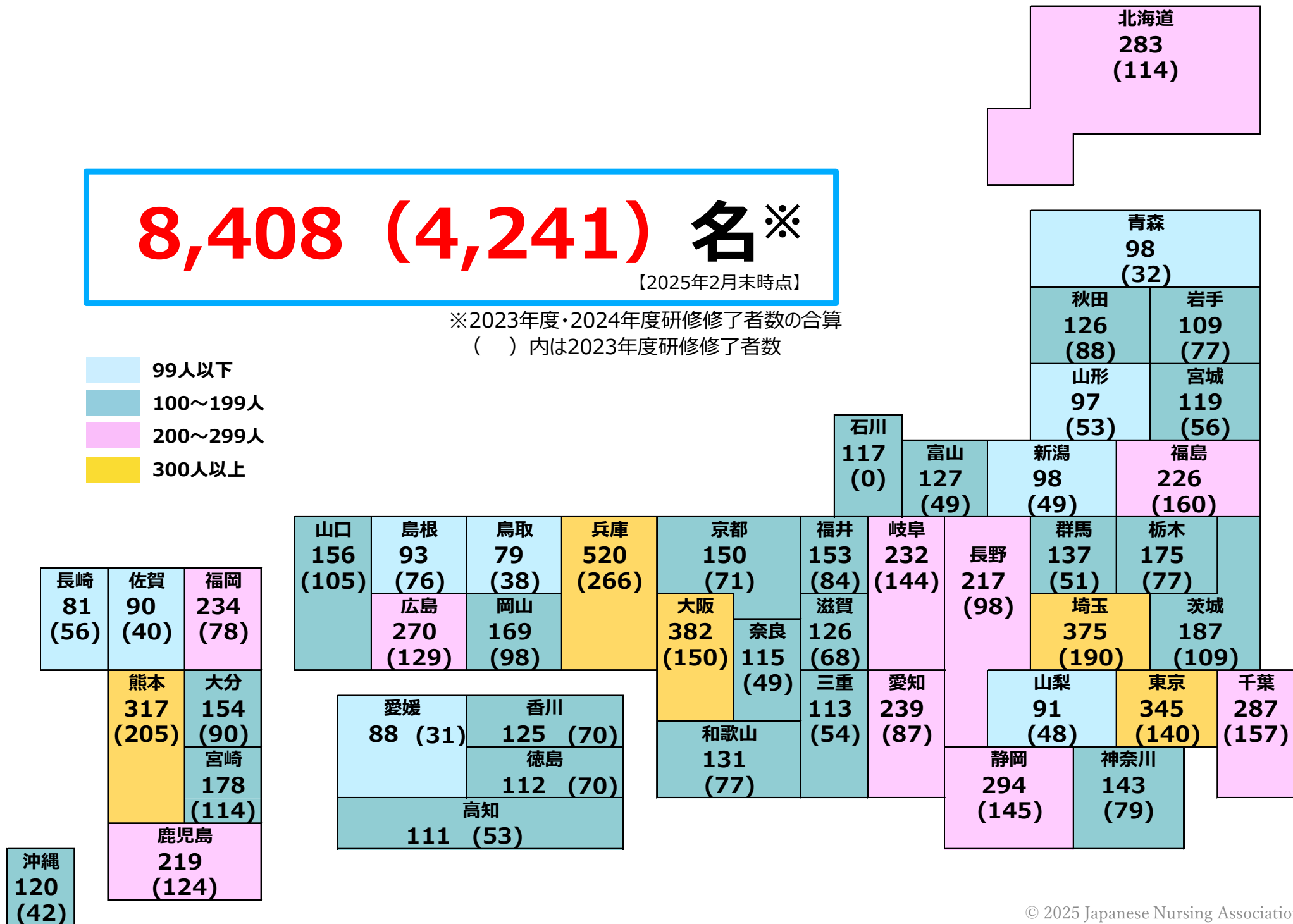
# 都道府県別災害支援ナース養成研修修了者数

## 8,408 (4,241) 名※

【2025年2月末時点】

※2023年度・2024年度研修修了者数の合算  
( ) 内は2023年度研修修了者数

|  |          |
|--|----------|
|  | 99人以下    |
|  | 100～199人 |
|  | 200～299人 |
|  | 300人以上   |

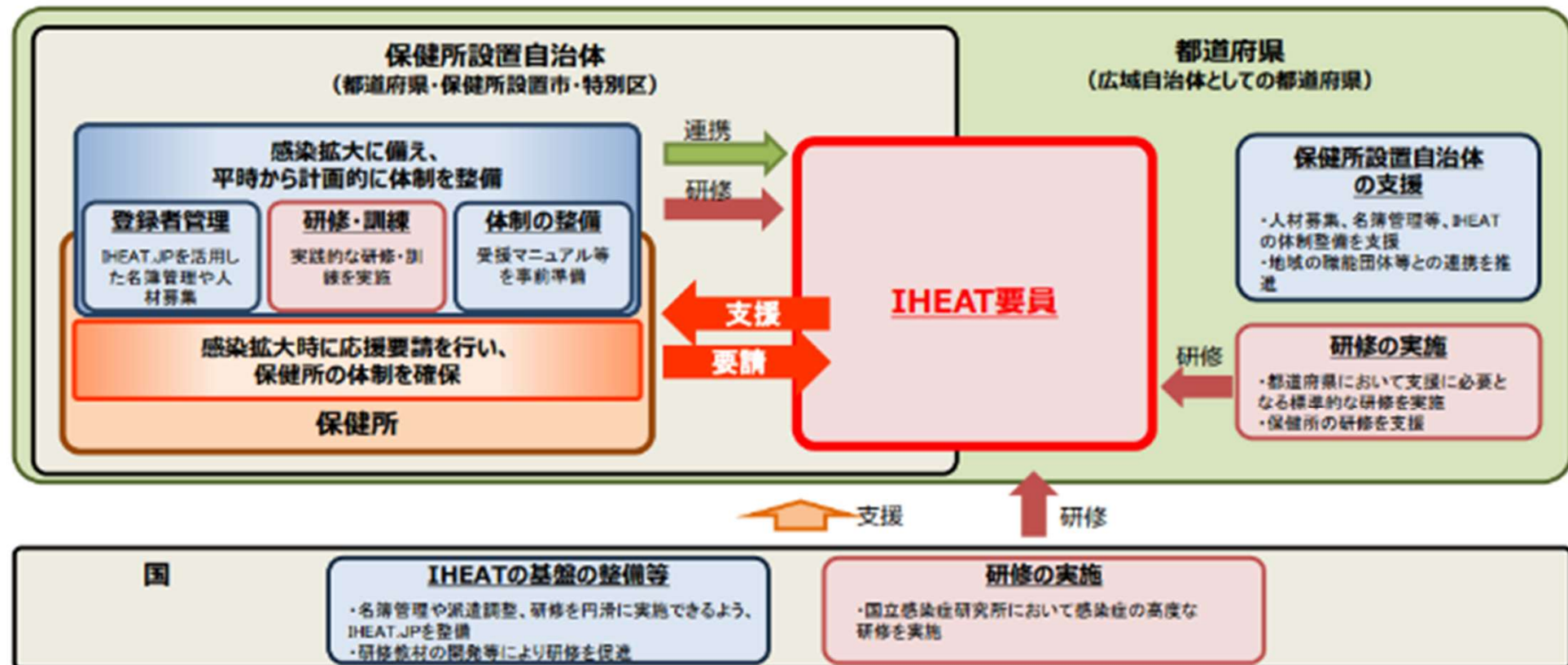


## 地域保健法の改正によるIHEATの強化

IHEATは、感染症のまん延時等に地域の保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する仕組みであり、**IHEATを強化**するために法定化された。

- 保健所業務ひっ迫時における臨時的な人員確保の方策として、**恒久的な制度**に位置づけ。
- IHEAT要員が働きやすく、また自治体がIHEAT要員に速やかに支援を要請できる環境を整備するために、本業の雇用主に**兼務に配慮**する努力義務を規定するとともに、支援を行うIHEAT要員に**守秘義務**を規定。（第21条第2項、第3項）
- 要請に即応可能な人材を確保するために、**国、都道府県、保健所設置市・特別区**のそれぞれが、IHEAT要員への**研修等の支援**を行う責務を規定。（第22条）

※ 令和5年度予算に、保健所設置自治体の研修等に対する補助を盛り込んでいる



# 令和7年度富山県への要望事項

令和6年8月29日(木):岡本会長から富山県厚生部長へ提出

富山県看護協会は、県民の健康と福祉に貢献する看護職能団体としての使命を果たすため、富山県知事あての下記要望を岡本会長から有賀厚生部長へ提出しました。

(看護協会出席者：岡本会長、中島副会長、渋谷副会長、吉田専務理事、藤井常任理事、大川事務局長)

## I 看護の質向上

### 1 看護職の生涯学習支援のための研修体系の構築

行政機関、教育機関、医療・介護・障害・在宅の実践現場、看護協会の代表者等による検討委員会を立ち上げ、県内の生涯学習の実態把握・課題抽出を行っていただきたい。

### 2 富山県立大学における看護職リカレント教育の整備

県内の社会的ニーズや政策課題に応じて、認定看護管理者(ナトリ)や心不全看護、認知症看護、緩和ケアの認定看護教育課程を開講いただきたい。

### 3 訪問看護師と病院に所属する専門性の高い看護師との連携促進

県内外における好事例の集積や実践場につながる試行事業を、県において実施いただきたい。



岡本会長から有賀厚生部長へ要望書提出

## II 働き方改革の推進

### 1 「勤務環境改善チャレンジ枠」等の創設

勤務環境改善に効果の高い設備や看護器具等の導入支援など、新たな県制創設を創設いただきたい。

### 2 ナースセンターにおける看護補助者の確保・定着に係る経費の確保

看護補助者の就業支援に係る確保が滞ることのないよう、必要な経費を確保いただきたい。

### 3 訪問看護における利用者や家族からの暴力・ハラスメント対策

県において早急に予算化されるとともに、対策となる訪問看護事業所にしっかりと周知いただきたい。

### 4 プラチナナースの就業を支援する専用相談窓口やバンクの開設

### 5 子育て支援(学童保育、延長保育、病児保育、夜間保育等)の充実

## III 看護領域の開発・展開

### 1 産後ケア事業及び妊婦等包括相談支援事業等への助産師の積極的活用

医療機関等に置く助産師の積極的活用を検討いただきたい。

### 2 訪問看護事業所における若干看護職員の確保・育成

### 3 災害・感染症への対応力の強化

受付け強化や専門・認定看護師の派遣等を検討いただきたい。

### 4 看護多機事業所の整備と組織化への支援

### 5 医療的ケア児への支援充実のための看護職の確保・育成



県厚生部長室での要望・意見交換



ご視聴ありがとうございました

---

